

平成 30 年度第 2 回 里庄町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 27 日(水) 〈開会 9 時 00 分、閉会 9 時 40 分〉
- 2 場 所 里庄町役場本庁舎 2 階 第 2 会議室
- 3 出席者 町 長 加藤 泰久
教育長 杉本 秀樹
教育委員 宮崎 勇次 (教育長職務代理者)
定兼 正明 三吉 俊郎 堀 朝子
オブザーバー 小寺教育委員会事務局長 天野事務局長補佐
事務局 赤木総務課長 総務課主事安藤

4 議事にかかる出席者の発言

(1) 里庄町各園校の卒業期における「めざす子どもの姿」について (議事進行：町長)

【加藤町長】

里庄町各園校の卒業期における「めざす子どもの姿」について、教育委員会から説明をお願いしたい。

【杉本教育長】

限られた時間だが、皆様の意見等を頂きたいと考えているので、説明はできるだけ簡単にさせていただき、あとでいろいろと議論頂ければありがたい。

まず、資料は、保育園から中学校まで、要するに中学校を卒業するときどんな子どもに育てていきたいのかという里庄町の方角を示すものであり、保幼小中の連携になっている。国が作成を指示し、岡山県も作り、里庄町も作るというもので、今年度中に作成し、4月から実施をしていきたい。

考え方としては、このような種々の資料を作成するときに、丁寧に作成することが目的になってしまい、作り終えたら見返さず、内容も覚えていないというものでは無駄になってしまうので、できるだけ簡単で分かりやすく、すっきりしたものにしようということでスタートさせ、保育園から中学校までの先生方に集まっていただき、何回も練り直しを重ね、それぞれの思いをいれたものが今の案として、ほぼ最終形に近い形となっており、あと1回2回を持って決定したいと思っている。

案としては、資料の目指す子どもの姿として一番上に「一人一人が主人公になる子ども」というのを中学校卒業時に里庄町が目指す子ども像として掲げている。この言葉にしているのは、やはり一人一人が覚えやすく分かりやすく意味のある言葉ということで選んでいる。また、保育園又は幼稚園の時期にはこういう子どもにしたいということで三つの柱があり、「明るく仲良く」「豊かな感性と表現力」「健康な心と体」、要するに徳知体でそれぞれ小学校と中学校についても入れている。

資料の中央の取り組みの欄に、保幼小接続カリキュラム、小中連携、明るい学校づくり

保幼中連携の文言があるが、これらを具体にしたものが別添資料としてある。またゆっくりご覧いただきたいが、内容としては、小中連携の実際取組、岡山県が出している資料、明るい学校づくりの実施要綱等である。

以上、簡単ではあるが、保育園を巻き込んで、中学校卒業まで一貫して、共通理解をして取り組んでいこうということで考えている。

【加藤町長】

教育長から説明があったが、このことについて各委員から意見等があればお願いしたい。

【宮崎教育長職務代理者】

この取り組みは非常に良い。分かりやすい。おそらく子どもたちに残っていくと思う。特に保育園、幼稚園は非常に大事な時期。楽しく遊べるという、笑顔を絶やさない時期が一番大事で、これを引き続き中学校まで常に笑顔が出るような体制を作ってもらいたい。

【定兼委員】

個人的な意見だが、やっとなり庄町らしい教育の道筋が完成したのかなという印象。小さい町であるメリットを最大限に生かすための教育のシステムは、私も長い期間教育委員をさせてもらっているが、9年ほど前から小中連携の項目追加等してもらっていたが、なかなか理念と実践が一緒になってなかった。実践が先に来ている、理念ができていなかったのがようやく完成したので、なり庄町の教育が進んでいくのかなという感覚である。

【加藤町長】

定兼委員が言ったように、やはり理念が無ければ、いくら実践しても、それが結果としてどのようなものになっていくのか、はっきりしたものがわからないので、こういった理念をしっかりと持って、その目的に向かって実践していただきたいと思う。

【三吉委員】

これも個人的な思いであるが、小学校の目標にある「元気たくましく、体づくりと健康づくり」を中学校卒業時はさらに、たくましく生き抜く精神力、忍耐力をつけて卒業してもらいたい。卒業後に、高校、大学、社会に出て行くというときに、自己判断できる力、どこまで自分の力を発揮できるか、ということである程度厳しくも子どもたちを見ていくことが必要だと思っている。

【堀委員】

以前は、連携が無いなと思っていたが、目に見える形で、小さいときから中学校卒業まで見えるというのはとても良いことだと思う。保育園と幼稚園の目標は異なると思うが、共通の項目もきっちりやっていたら、小学校入学の際に同じようなスタートが切れるのかなという感じがする。

【杉本教育長】

平成30年に保育園の指針が変更になり、今までは保育園は保育、幼稚園は教育だったが、保育園も教育の分野を大きく取り入れ、保育園と幼稚園が近くなってきた。これは、

小学校入学を意識して、国が示したもので、里庄町としても保育園にどこまでお願いするか、保育園と幼稚園の歩調をできるだけ合わせていきたい。

【加藤町長】

今の話の中で、保育園と幼稚園は同じような教育をしていかなければならないということと、保育園から中学校卒業までずっと同じような、一人一人の個性に応じた関わり方をしていくことが大切なことでは無いかと考える。コンパクトな町だからこそできること、深く関わっていくこともできるのではないかと考える。めざす子どもの姿（案）とはなっているが、この方針に従って里庄町としては推進していきたい。

(2) 里庄町公立園校における働き方改革の取り組みについて（議事進行：町長）

【加藤町長】

里庄町公立園校における働き方改革の取り組みについて、教育委員会から説明をお願いしたい。

【杉本教育長】

まず、働き方改革について、勤務時間管理について、労働法上、学校長や教育委員会等に求められる責務として、改めて法令上で明確化されたものである。罰則は無いが、法で決められたというのが重要で、学校現場において勤務時間管理の徹底が必要で、客観的に把握すること、文部科学省が作成した時間外勤務の上限のガイドラインに基づく月 45 時間、年で 360 時間の実効性を高めることが求められる。そのため、学校教諭が担ってきた業務のありかたを考え直し、業務の中身を精選したうえで明確化することが必要であり、教職員及び専門スタッフ等、学校指導運営体制の効果的な強化充実が求められる。

この中で、一番の課題となるのは、教職員定数が足りず、人手が無いことであり、学校の中に、いろいろと仕事をする人を増やさないと、勤務時間は減らないことである。また、さらなる人材の確保に係る予算は、国、岡山県、里庄町のどこにもない。これらのことから、地域の人々の力、ボランティアの人々の力を有効活用していかないと学校は維持できないのではないかと考える。

今後の見通しでは、来年度に方向性を定め、対応を考えてやっていかなければならない。参考資料として、これまで里庄町が取り組んだ働き方改革をつけているので後ほどご覧いただきたい。

【加藤町長】

学校教諭の働き方改革を進めるうえで、教育現場に非常に大きな影響が出るということが分かった。そのことも含めて、今後の対応を考えていかないといけない。委員の皆様から意見等をお聞かせ願いたい。

【定兼委員】

今まで仕事を進めていくうえで当たり前だったことが、当たり前ではすまなくなり、ルールに基づいたシステムに変換していかなければならない状態になっている。例えば、学

校の集金方法など。一つ一つの見直しをしていかないと、今後はうまく回らないのでは無いかと思う。圧迫感を感じる。

【加藤町長】

民間でもそれぞれの職域で働き方改革がなされているが、学校現場でも業務見直しが必要になったときに、まず子どもたちにその影響がいかないようにその体制を取っていかないといけないと思う。

【三吉委員】

いろいろな職業がある中で、学校教諭は子どもを相手にするので本当に大変な仕事だと思う。子どもの長期休暇期間等も利用して体を休めていただきたい。先生もリフレッシュする期間が必要。里庄町独自で、有給休暇などを取りやすい環境を作っていけないだろうか。

【宮崎教育長職務代理者】

私自身も教諭をしていたが、仕事の量がなぜこんなにも増えたのかと感じる。子ども自身と接する時間が減っているが、保護者自身の問題や、対応の時間が増えている。原因はわからないが、こういった働き方改革の指針が出るのは大事なことである。教員同士の縦と横とのつながりの強化も大事である。

【堀委員】

働き方改革の一つである音声対応電話については、先生方から助かるという話を聞いているが、電話の内容その後が気になる一面もある。支援員と担任の先生との打ち合わせも必要と思うが、その時間も負担になるので、学校側で仕分けが必要なのでは無いかと思う。地域の中には、遠慮している人もいるようだ。

【杉本教育長】

地域の人については、コミュニティスクールというのが努力義務化されており、里庄町もしようと思っている。コミュニティスクールは、地域の人に学校に入ってもらい、支援内容等の意見も含め、学校を支援する組織である。来年度、きちっと組織立てをして、再来年度に全面実施をするのが一番スムーズであると考えている。里庄西小学校では早速ボランティアを募集している。反面で、形だけのコミュニティスクールが全国で多数あることから、里庄町はきちんと機能する組織を目指したい。

【加藤町長】

里庄東小学校での取り組みはこれからか。

【杉本教育長】

これからであるが、里庄西小学校に追随してくるものと思われる。

【加藤町長】

その他、教育行政全般について、意見等はあるか。

→全委員特に無し。
本日の議事を終了する。